

■平成22年度全国農地集団化協議会長賞  
優良地区

堀板地区 大仙市仙北総合支所

■平成22年度東北農業農村整備推進協議会長賞  
優良地区

糸流川地区 琴丘土地改良区  
花館地区 秋田県仙北平野土地改良区  
六郷西部地区 仙北郡六郷町土地改良区  
里見地区 おものがわ土地改良区

■平成23年度秋田県農地集団化推進協議会  
農地集団化事業 優良地区

若美北部地区 男鹿市若美土地改良区  
小種地区 大仙市協和小種土地改良区  
大浦沼地区 大仙市神岡支所  
平鹿高野地区 平鹿町土地改良区  
会塚地区 横手市沼館土地改良区

■同上 功労者

後藤 清一 平鹿町土地改良区 理事長

## 秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会

■平成23年度第1回通常総会が開催される



平成23年7月8日、秋田市(ルポールみずほ)で「平成23年度秋田県農地・水・環境保全向上対策地域協議会第1回通常総会」が、23会員団体(会員数30団体)の出席で開催された。

同対策は、農地や農業用水などの資源の保全と質の向上を図ることを目的に、地域ぐるみでの共同活動や営農活動を支援するもので、県では、県全体の地域づくりの一環として「水と緑に包まれた秋田の原風景を守り継ぐ県民運動」として位置付けており、今年が第一期対策の最終年度となっている。

総会は、黒子高夫会長(水土里ネット秋田専務理事)が「この度の震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈りいたします。この震災で地域の農林水産業が破壊的な被害を受けており、地域経済が悲慘的な状況に陥っている様子を見て、地方の基幹的産業である一次産業をしっかりと位置付けることが重要であると改めて思い知らされた。また、水の文化研究所理事の富山和子さんの記事が『この度の原発事故で、農家は生きる根っこを引き抜かれた。先祖代々耕している土地を離れる辛さ。地域は水と緑と土の守り手を失って、文化と歴史が寸断されている状況にある』と北海道新聞に掲載されていた。まさに私どもは水と緑と土を保全するための活動を5年間取り組み、今年が一期対策の最終年度を迎えた。県協議会としては継続されるであろう第二期対策においても、引き続き活動を支え、農地と水に関わる環境保全向上活動の大切さを、広く県民に訴え、農業生産活動への理解の醸成を図っていきたくと考えている」と挨拶し、引き続き、提出議案について協議が行われた。

議事では、平成22年度事業報告、平成22年度収支決算報告(共同・営農・推進)などが議決事項として提出され、審議の結果、いずれも事務局提案通りに承認された。



平成23年度  
仙北支部農地・水写真コンクール表彰作品

最優秀賞 「ひとりでもできるもん」

大仙市 福部羅地区環境を守る会

## 第9回 水土里のみちウォーキングin仁井田walk開催!!

平成23年6月19日(日)、秋田市四ツ小屋周辺で「水土里のみちウォーキング」in仁井田walkが開催された。

平成15年から始められ今年で9回目となるこのイベントは、先人が拓いた水土里の路をたどることにより、農業水利施設の役割と豊かな自然を再発見するもので、水土里ネット仁井田堰と秋田県ウォーキング協会が主催した。



◇主催者あいさつ(仁井田堰土地改良区 伊藤理事長)



◇スタート前に全員で準備体操!

青空の下、子供からお年寄りまで236人が参加し、14kmと6kmのコースに挑戦した。午前9時には、14kmコースの参加者が秋田市御所野の県中央地区老人福祉総合エリア駐車場をスタート、せせらぎ水路広場、四ツ小屋幹線水路、仁井田堰用水路などを通り、途中で立ち寄った仁井田堰頭首工では水土里ネット仁井田堰職員による説明が行われ、参加者は施設や地域の歴史、役割などを学びながら初夏の田園風景の中、ウォーキングを楽しんだ。



◇仁井田堰幹線用水路(14km コース)



◇白山神社近くの仁井田堰水路沿い(6km コース)

ゴール地点(エリア駐車場)では、恒例となった地元農家による朝どり野菜の販売とポップコーンの配布も行われ有意義な1日となった。

なお、ウォーキングの際に、参加の皆様よりお預かりした義援金につきましては、東日本大震災見舞金として秋田魁新報社に届けられました。ご協力ありがとうございました。

# 「水土里の郷・鳥海 わくわく探訪」が開催される!!

鳥海・水の旅 — 温水路ってなあ～に? —



7月9日(土)農業・農村の多面的機能や、農業水利施設の役割・重要性を子供たちに学んでもらおうと「水土里の郷・鳥海わくわく探訪」が、由利本荘市とにかほ市で開催され、秋田市と近隣市町の小学校児童と保護者合わせて22名が参加した。

「わくわく探訪(土地改良施設巡り)」は、子供たちに農業水利施設などを見学してもらい、農業・農村について理解と関心を持ってもらおうと「あきた食料・環境・ふるさとを考える地球人会議(山上信子会長)」が主催するイベントで、今年で通算15回目の開催となった。



今回は、「いろんな施設の歴史や役割、水のはたらきを知ることができるよ!」と「創作活動でみんなで楽しく踊ろう!!」をサブタイトルとして企画し、参加者は「水土里ネット秋田」の駐車場に集合して大型バスに乗り込み出発。バスの中では、「オオブレネリ!」を歌いながら、由利本荘市西目地区の「水土里ネット西目」を目指した。現地に到着後、三浦理事長(水土里ネット西目)の案内で、西目地区の揚水機場&ラバーダム、次にバッファープOND、幹線用水路の急斜面地の遊休落差を利用し、土地改良区の維持管理費の軽減を図るために建設された西目発電所(小水力発電所)などを見学をした。さわやかに晴れ上がった青空の下、碁石公園(「バッファープOND」)水の精のブロンズ像の前では、全員で笑顔の記念撮影となった。



次に、『ハーブワールドAKITA』に到着し、園内のぶどう畑の下では、わくわく企画(ふれあいタイム)創作活動で楽しく踊ろうを、「ヤーホー・ホートラララ」と歌いながら、全員でいい汗をかきながら踊り、ちょうど、おなかの空いたところに昼食&ドリンクバーに歓声が沸き起こった。



午後からは、にかほ市金浦地区に移動し、日本海の波浪から海岸を保全するとともに、波浪や強風による塩害から農地、農作物を守るため、自然石を積み上げて築造された『由利海岸波除石垣』を見学し、日本海から打ち寄せる波間からこぼれる海水に、はしゃぐ姿も見受けられた。

次に疏水百選に選ばれた「上郷温水路群」を探訪し、小滝温水路で

は、「水土里ネットにかほ」の須田事務局長からの説明に熱心にメモをとっている姿も見受けられた。特に、「温水路」は、鳥海山の雪解け水を温めて稲作に適した水温にするための役割をしていることや、上流部と下流部では5℃以上も水温差があることなどを聞いて温水路の役割に関心を寄せていた。説明の後、子供たちは裸足になって温水路に入り、鳥海山の恵みである雪解け水の冷たさを実感し、歓声を上げながら温水路を横断し「思っていた以上に水は冷たくなかった」「小魚がいたら、つかみどりしたいなあ」など感想を話していた。



「温水路ってなあ～に？」から始まった今回のわくわく探訪では、子供たちが直接「温水路」に入って鳥海山の恵みである「水」の感触を体感し、大変喜んでいる姿が印象的であった。また、土地改良施設を見学して、各地での説明に対し熱心にメモを取ったりする姿が見受けられ、施設の役割や水の大切さを理解し、ふるさと「あきた」に対する関心が広がったことと思われる。



私達が住んでいる「あきた」には、豊かな自然環境を背景に先人たちが創りあげてきた、かけがえのない伝統文化や文化財としての各施設があり、いろんな施設の歴史や役割、水のはたらきを知ることによって、世代を超え、地域の人々を結び付けてきた祭りや行事・文化財・各施設を受け継ぎ、また伝えていくことが、その土地に共に生きる証となり、それが伝統文化の継承であり、今後も、こうした子供たちの「水」「土」「里」に対する理解と関心を広める活動を継続して行きたいと思いました。



## 地球人会議

# 平成23年度 運営委員会を開催

7月4日(月)、本会第1会議室で、「あきた食料・環境・ふるさとを考える地球人会議」の、平成23年度運営委員会が開催され、平成22年度事業報告・収支決算、任期満了に伴う役員改選、平成23年度事業計画(案)・収支予算(案)などが審議され、役員選任では、山上信子氏が引き続き会長に選任された。

また、各議案はいずれも原案どおり可決され、特に、平成23年度事業計画では、地球人会議主催で毎年開催している「地球人フォーラム」について、予算削減の関係から今年度は他団体と連携した活動として検討していくことを確認した。

なお、選任された役員及び運営委員は次のとおり。(任期：平成25年3月31日まで)

- |                           |                                |
|---------------------------|--------------------------------|
| ◇会長：山上 信子(秋田市男女共生参画運営委員)  | ◇運営委員：黒崎 一紀(秋田権台FM放送株式会社代表取締役) |
| ◇副会長：佐藤 敦(秋田県立大学名誉教授)     | 鑑 長秀(NPO法人はちろうプロジェクト事務局長)      |
| ◇監事：佐藤万里子(F・Fネットあきた南事務局長) | 小野寺幸雄(NPO法人樽見内地域資源保全委員会事務局長)   |
| 藤井 明(株式会社かおる堂代表取締役社長)     | 館岡美果子(農家民宿ファーム・イン果夢園代表)        |